

### 3あっぷ運動

- ・あいさつ
- ・あしまつ
- ・ありがとう
- +1夢や希望をもつ



学校だより「時習館」  
令和3年10月8日(金)  
笠間市立笠間小学校  
第41号

## 前期の終業式の式辞から

本格的な秋を迎える10月なのですが気温も20度近くあり、例年とはちょっと違った秋の様子です。9月に学校が始まりましたが、すぐに分散登校やオンライン学習となり、大変戸惑ってしまったのではないかと思います。しかし、この1か月、非常事態の状況を笠間小学校のみなさん、よくがんばり乗り越えることがき、本当にすばらしいなと思っております。

さて、今週の火曜日にノーベル賞の発表がありました。その中に日本人が受賞したという大きなニュースが届きました。ノーベル物理学賞を受賞した「真鍋 淑郎」さんです。真鍋さんは、地球の気候と地球の温暖化の予測に関する研究を行いました。二酸化炭素の量が増えたり減ったりすることが気温に関係することをコンピュータで見つけ、その研究が評価をされたからです。真鍋さんの受賞の記者会では「研究を駆動するのは好奇心。最もおもしろい研究は好奇心によって行われるものだ。」と言っておられました。好奇心とは珍しいことや、知らないことに興味をもつことです。何かに興味をもって自分から進んで取り組むことが自分自身を成長させることのつながりますね。



9月10日にテレビ番組で全国高校生クイズが放送されました。茨城県からは水戸第一高等学校が出場し、その中に同じ笠間市にあるお隣の稲田中学校出身の生徒も活躍しておりました。決勝戦まで勝ち上がり、次の問題が出題されました。

### 「4tの砂の中に深さ80cm埋まっている、25kgのトロフィーを抜き出せ」

使ってよい道具はタイヤ、ロープ、ビニール袋(大)、鉄の棒、角材。ビニールパイプ、風船、ハンドミキサー、掃除機、ビニールのテープです。選手たちは、いろいろな方法を「こうしたらどうか」「これを使ったらいいのではないか」など自分の今までの経験を生かしてグループの中で様々な考えを出し合って実際に確かめていきます。



答えは掃除機をビニールの袋に入れて、空気を吐き出す力を利用してその風をビニールパイプをつないで砂に空気を送り込むと砂が水のように動いていくのです。トロフィーの根元に風を吹き付けて砂を舞い上がらせていきます。そして、25kgのトロフィーを抜きだしたのです。この問題を解く高校生たちを見て先生は、①今まで知っていることを普段の生活に生かすことができる。②友達と相談して問題を解いていく。一人より二人、二人より三人と友達の考えを知って、いろいろなことに気づき、新しい考えをつくっていくことが大切かと思えます。そして、覚えたことを生かすことができると思えます。



今日で、令和3年度の前期が終わります。運動会やプール学習、校外学習、夏休みの総合的な学習の時間など様々な体験をしてきました。そして、前期の通信表を担当の先生からいただきます。一日一日の積み重ねを評価していただきます。これからも、毎日の小さながんばったことを丁寧に積み重ねてください。そうすることで自分の強さにつながっていきます。その強さはやがて自分の夢を足元に引き寄せることができます。みんなで作る合言葉、「3アッププラス1」のプラス1、夢や希望をもって生活をしてください。